

【問題】

次頁以下に掲げる文章は、猪原敬介『読書効果の科学——読書の“穏やかな、力を活かす3原則』（京都大学学術出版会、2024年）79頁～92頁及び207頁～226頁からの引用である〔出題にあたり改変した箇所がある〕。

この文章を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 第3章（1頁～8頁）における実験研究の知見に即して、図3-2から読み取れる内容を10行以上15行以内で説明しなさい。

問2 第7章（9頁～18頁）における行動遺伝学の知見の内容について、読書行動と遺伝の関係、及び、読書に関する環境と遺伝の関係を踏まえつつ、10行以上15行以内で説明しなさい。

問3 読書には言語力を伸ばす意義があるかについて、問1と問2で説明した内容を踏まえ、15行以上20行以内で論述しなさい。